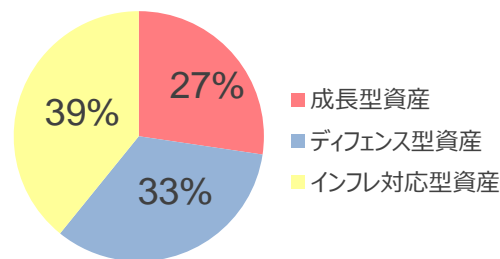


特別勘定名	豪ドル建グローバル分散型（15） ・ 米ドル建グローバル分散型（15）
主に利用する 外国投資法人名	ルクセンブルグ籍外国投資法人 アライアンス・バーンスタイン・ファンド・ダイナミック・オール・マーケット・ポートフォリオ
投資顧問会社	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
運用方針など	<ul style="list-style-type: none"> 投資対象を株式や債券などの伝統的資産に限定することなく、株式、債券、REIT、商品(コモディティ)、通貨などを含むさまざまな資産クラスに幅広く分散投資します。 資産配分においてはリスクバランスを重視、またレバレッジ取引を行うことで、安定的なリターンの獲得をめざします。 市場の状況に応じて資産配分を機動的に変更することで、リスク調整後リターンのさらなる効率化をめざします。

<主に利用する外国籍投資法人の実質的な資産配分割合とレバレッジ率（直近値）>

実質的な資産配分割合

成長型資産 米国および先進国株式、新興国株式、投資適格社債など	27%
インフレ対応型資産 グローバル・インフレ連動債、REIT、商品（コモディティ）など	39%
ディフェンス型資産 米国および他の国債など、状況に応じてオプション戦略など	33%

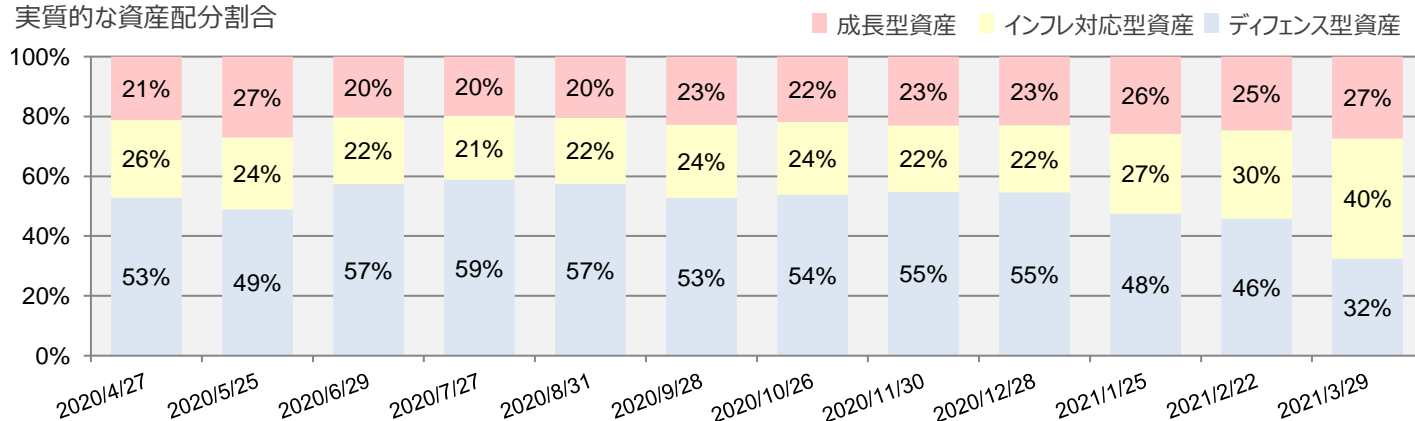


レバレッジ率	385%
--------	------

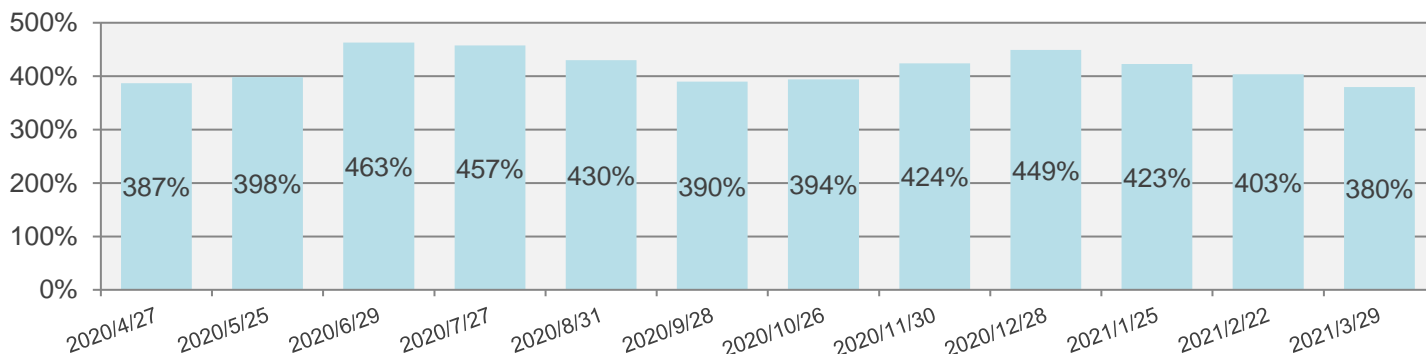
※各資産の運用はレバレッジを使用しているため、実際には合計で100%を超える比率で運用を行いますが、便宜的に合計が100%となるように引き直した数値を記載しております。
ただし、端数処理を行った結果、合計が100%とならない場合もあります。

<主に利用する外国籍投資法人の実質的な資産配分割合とレバレッジ率（直近1年間・各月末の推移）>

実質的な資産配分割合



レバレッジ率



※実質的な資産配分割合は、一定のルールに基づき算出された値です。実際の資産配分割合とは異なる場合があります。

<この保険について、特にご注意いただきたい事項>

為替リスクについて

この保険は外国通貨建てのため、外国為替相場の変動による影響を受けます。

- この保険に係る外国為替相場のリスクは、ご契約者および死亡保険金受取人に帰属します。
- お受取時の為替レートによって円に換算した死亡保険金額、積立金額、解約時の払い戻し金額などが、ご契約時の為替レートによって円に換算した死亡保険金額、積立金額、解約時の払い戻し金額などを下回る場合があります。
- お受取時の為替レートによって円に換算した死亡保険金額、積立金額、解約時の払い戻し金額などが、ご契約時の為替レートによって円に換算した一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。

投資リスクについて

- 運用期間の変額部分については、特別勘定を設けて、株式、債券、REIT、商品（コモディティ）、通貨などで運用されるため、運用実績が積立金額、死亡保険金額、解約時の払い戻し金額などの変動（増減）につながります。
- 特別勘定における資産運用には、株価変動リスク、金利変動リスク、商品関連リスク、為替リスク、信用リスク、流動性リスク、デリバティブ取引のリスクなどがあり、積立金額や解約時の払い戻し金額は、一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。
- 特別勘定の詳細については、「ご契約のしおり・約款」または「特別勘定のしおり」をご確認ください。

解約する場合などのリスクについて

解約時の払い戻し金額などが一時払保険料を下回る場合があります。

- 運用期間中、定額部分について市場価格調整を行うこと、変額部分について投資リスクがあること、ご契約の締結の際に契約初期費用を控除することなどの理由により、解約時の払い戻し金額などが一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。
- 運用期間中、定額部分の第1積立利率期間は、第2積立利率期間に比べ、積立利率が低く設定されています。

諸費用について

この保険では、次の各費用の合計額をお客さまにご負担いただきます。

[ご契約時]

契約初期費用（ご契約の締結などに必要な費用）：一時払保険料（基本保険金額）に対して8.5%
ご契約の締結の際に、一時払保険料から控除します。

[運用期間中（定額部分）]

積立利率の計算にあたっては、ご契約の維持などに必要な費用および死亡保険金をお支払いするための費用をあらかじめ差し引いています。

[運用期間中（変額部分）]

運用関係費（投資法人の手数料など、特別勘定の運用に必要な費用）：平均純資産総額に対して年率最大0.90%^{*1}

特別勘定にて利用する投資法人における平均純資産総額に対して上記割合（率）を乗じた金額の1/365を毎日、投資法人の純資産額から控除します。

*1 記載の上限率を超える費用は投資法人の管理会社が自発的に負担します。ただし、管理会社が自発的に負担する費用には、ルクセンブルグ年次税以外の税金、仲介手数料および借入利息は含まれません。

[終身保険期間中]

終身保険期間中の死亡保険金額は、ご契約の維持などに必要な費用および死亡保険金をお支払いするための費用を控除する前提で算出されています。これらの費用については、移行日における被保険者の年齢および性別に応じてその時点の基礎率にもとづいたものとなるため、ご契約時には定まっておられません。

[年金払特約（15）により死亡保険金を年金でお受取りになる場合]

年金管理費（年金のお支払いや管理などに必要な費用）：年金額に対して1.0%^{*2}

年金支払日に、責任準備金から控除します。

*2 記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。

[通貨の換算にかかる費用]

一時払保険料、死亡保険金額、解約時の払い戻し金額などを、円から選択通貨、選択通貨から円にそれぞれ換算する際の為替レートには為替手数料が反映されており、当該手数料はお客さまのご負担になります。TTM（対顧客電信売買相場仲値）はアクサ生命所定の金融機関が公表する値となります。

特別勘定について

特別勘定資産の運用には、株価変動リスク、金利変動リスク、商品関連リスク、為替リスク、信用リスク、流動性リスク、デリバティブ取引のリスクなどがあり、積立金額や解約時の払い戻し金額が、一時払保険料を下回ることがあります。（積立金額や払い戻し金額に最低保証はありません。）これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。

特別勘定資産の運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

特別勘定の運用対象、運用方針および投資顧問会社などの運用協力会社は、法令などの改正または効率的な資産運用が困難になるなどの理由により、変更されることがあります。なお、投資顧問会社などの運用協力会社については、運用成績の悪化など、アクサ生命がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただきます。

特別勘定には、各種支払などに備え、一定の現金、預金などを保有することがあります。くわしくは「特別勘定のしおり」をご覧ください。

※本資料は、主に利用する外国投資法人の実質的な資産配分割合をお知らせすることを目的としています。

※利率変動型定額部分付変額終身保険（通貨選択型）のご検討に際しては、「商品パンフレット」「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

この商品は、アクサ生命を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なり、元本保証はありません。

引受保険会社

アクサ生命保険株式会社



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777
www.axa.co.jp